

1 2017  
月号  
No281

# まじゅん

 沖縄県商工会連合会 会報誌



## contents

- 02—05 ● 新年挨拶
- 05 ● 女性部主張発表大会全国1位
- 06 ● 青年部・女性部だより
- 07 ● 役員研修・全国むらおこしコンテスト
- 08 ● 全国物産展・おやつランキング
- 09 ● 事業承継・創業塾
- 10 ● 百年企業物語
- 11 ● 伴走型支援事業事例





沖縄県商工会連合会  
会長 當山 憲一

## 年頭あいさつ

明けましておめでとうございます。平成二十九年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。さて、昨年の県内景況は、個人消費が堅調で、観光や建設関連も好調に推移し、雇用面においても一段と改善してまいりました。一方で小規模事業者は、人手不足や最低賃金の上昇等に対応するため、さらなる生産性の向上や、経営力向上を求められております。

商工会としても、小規模企業振興基金法の理念に基づいた国のさまざまな支援策を活用し、会員や小規模事業者に対し積極的に支援していかねばなりません。また、支援力の強化という意味においては、国の経営発達支援計画の認定は急務であり、今後は県内のすべての商工会が認定されるよう、商工会と連携してすすめてまいります。

そのようななか、本会では、商工会組織の強化並びに伴走型の支援事業や県産品の販路拡大を目指して、市町村商工会との連携のもと、諸事業を推進してまいりました。

なかでも、会員加入においては、昨年四月一日現在で組織率が六十五、五%で、全国で二番目に高くなっており、会員数においても九州では、福岡県に次いで二番目となっております。また、県産業まつりと同時開催の商工会特産

品フェア「ありんくりん市」におきましては、各市町村商工会一〇九事業所から地域の特産品が多数出品され、過去最高の三千六百八十二万円を売り上げ、大きな成果をあげることができました。

十一月に東京池袋で開催された全国物産展の「むらおこし特産品コンテスト」においては、豊見城市商工会の忠孝酒造の「黒あまざけ」が最高位の経済産業大臣賞を受賞する快挙を成し遂げました。また、「全国おやつランキング」におきましても、名護市のロイヤルエンターテイメントのマンゴープリン「プリン・ス・マンゴー」が三位に入賞し、これまで商工会が取り組んできた販路拡大の伴走型支援が大きく実を結びました。

さらには、十一月八・九日に福島県郡山市で開催された第十八回商工会青年部女性部全国大会における主張発表全

国大会に、九州・沖縄ブロック代表で出場した渡嘉敷村商工会女性部長の国吉佳奈子さんが、日本一となる最優秀賞を獲得しました。県内初の快挙に女性部や商工会関係者だけでなく、地元渡嘉敷村や、県内関係者が喜びに沸きました。

平成二十九年におきましても、本会は会員数2万人を超える唯一の地域総合経済団体として、会員の皆様とともに行政当局をはじめとする関係各位のご理解とご協力のもと、巡回指導の強化や人材育成を図り、会員の皆様の多様なニーズに対応し、会員満足度の向上に努めてまいります。

結びに、会員の皆様並びに関係各位にとりまして、商売繁盛に繋がるといわれる酉年の本年が明るい年となりますよう、心より祈念申し上げます。

平成二十九年 元旦



沖縄県知事  
翁長 雄志

## 年頭あいさつ

はいさい、いいそーぐわちでーびる。新年明けましておめでとうございます。

商工会会員の皆様におかれましては、気持ちも新たに、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、沖縄県の中小企業・小規

模事業者支援施策に格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

沖縄県商工会連合会におかれましては、日頃から巡回訪問等による事業者支援や、小規模事業者への経営改善普及事業等に精力的に取り組まれ、地域の商工業及び県内産業の発展に多大な貢献をされておりますことに深く敬意を表します。

昨年は、全国商工会連合会主催の「むらおこし特産品コンテスト」における経済産業大臣賞受賞や、商工会女性部全国大会主張発表大会における優勝など、全国での会員の方々の活躍が相次ぎました。これも会員の方々のご努力

や、沖縄県商工会連合会の皆様方のご指導の賜と存じます。

今年の11月には、商工会青年部全国大会が沖縄県で開催される予定となっております。引き続き皆様のご活躍を心から願っております。

さて、沖縄県経済は、外国人観光客数の増加を中心に観光関連産業が好調に推移しており、有効求人倍率も本土復帰後の最高値を記録するなど、雇用情勢も極めて良好な状況です。

今後は、この流れをさらに確実なものとするため、沖縄県では「沖縄21世紀ビジョン実施計画」に基づき、「経営基盤の強化」「資金調達の円滑化」など、経営及び金融の両面から中小企業・小

規模事業者への総合的な支援に取り組んで参ります。

沖縄県商工会連合会におかれましては、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の振興に引き続き御尽力下さりますとともに、県勢の更なる発展のため、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、沖縄県商工会連合会並びに会員の皆様にとつて本年が明るく希望に満ちた年となりますよう心から祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

平成二十九年 元旦



内閣府沖縄総合事務局長  
能登 靖

## 新年の祝辞

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨今の沖縄経済は、国内外の観光客数が過去最高を更新し、消費の伸びと共に有効求人倍率や完全失業率も引き続き改善するなど、堅調に推移してきております。

中長期的な沖縄の振興については、沖縄の持つ潜在力を伸ばしていくことが大事だと考えております。そして、いくつかの潜在力はすでに具現化しつつあるように思えます。

昨年、その地理的優位性を活かした沖縄大交易会は第三回目を迎え、ますます多くのバイヤー、サプライヤーが参加しています。また、国際航空路線も便数が飛躍的に伸び、ビジネス面での交流も盛んになりつつあります。

他方で、業種や事業者の規模によっては、景況感のばらつきなどの懸念材料がみられることも事実です。私ども沖縄総合事務局としましては、沖縄経済を支えていらっしゃる中小企業・小規模事業者に対する支援を引き続き積

極的に行ってまいります。

第一に、中小企業・小規模事業者の経営力強化・生産性向上です。昨年成立しました中小企業等経営強化法に基づく「経営力向上計画」の策定支援を実施いたします。また、「沖縄国際ハブクラスター事業」において、マーケティングによる高付加価値産業の創出に向け、中核機能を発揮する沖縄地域商社のマネジメント機能の強化、海外販路開拓を目指す事業者のハンズオン支援、物流人材の育成等の取り組みを実施してまいります。

第二に、活力ある担い手の支援、事業継承支援です。沖縄県事業引継ぎ支援センターを中心に、関係機関と連携しながら事業承継後の成長支援まで一

貫して取り組んでまいります。

第三に、中小企業を取り巻く支援環境の充実を図ってまいります。沖縄県よろず支援拠点を結節点とした支援機関の連携体制を再構築し、金融機関とも連携した実効的な協力体制を整えてまいります。

いずれにいたしましても、関係される機関、団体の方々との連携・協力は不可欠です。沖縄県商工会連合会及び各商工会員の皆様、中小企業・小規模事業者の皆様の益々の御活躍と御発展を祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成二十九年 元旦



全国商工会連合会  
会長 石澤 義文

## 年頭にあたって

新年明けましておめでとございます。平成二十九年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年年初にアメリカで新政権が発足し、世界情勢に大きな変化が予想される年であります。TPP協定への対応を含めた今後の政策は、農林水産業が基幹産業である商工会地域の経済にも大きな影響を与

えることが想定されますので、これからの動きについて注意して見守ってまいります。

さて、我が国経済は、このところ弱さのみられるものの、緩やかな回復基調が続いているといわれております。しかしながら、商工会地域においては、個人消費の冷え込みによる売り上げ減少や最低賃金の大幅な引き上げ、労働力不足や原材料費の高騰などの経営課題が山積しており、中小企業・小規模事業者にとっては極めて厳しい経営環境が続いております。

そのような中、国内においては東京オリンピックまで三年となり、建設投資や訪日観光需要が一層活発になることで、日本全体の経済成長を力強く後押しすることが期待されます。今後こうした成長が地方経済に波及するよう我々も努力してまい

ります。

昨年十一月に開催した第五十六回商工会全国大会では、地方経済の真の活力再生を目指し、小規模事業者への支援の大幅な拡充や、中小企業・小規模事業者が主役の地方創生の実現を強く要望する決議を行いました。

今年は今これまで以上に伴走型支援を徹底いたします。全会員の経営の持続的発展を図るため、商工会とともに会員自らが経営計画を策定し、それを実行・検証することで外部環境の変化に即応し、継続的な経営改善を実践していくことに力を置いてまいります。そのためにも商工会職員の人材育成は急務であり、「経営支援マネージャー制度」の推進、新人職員集合研修の実施に加え、スーパーバイザー

制度の活用により支援能力の底上げに取り組んでまいります。

さらに、地域振興や有事の際の地域住民への支援においても、商工会が中心的な役割を果たすことができるよう、組織が一丸となってこれまで以上に「信頼され、役立つ商工会」を目指してまいります。

今年商工会にとって実り多き年とするため、全国八十二万会員の皆様とともに一致団結して地域社会経済の発展に貢献してまいりますと存じますので、引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、今年が明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

平成二十九年 元旦

今年も実り多き一年でありますように。



沖縄振興開発金融公庫  
理事長 川上 好久

## 新年の祝辞

新年あけましておめでとうございませう。

沖縄県商工会連合会及び各商工会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、足元の沖縄経済の状況ですが、

好調な観光関連を牽引役に個人消費や建設関連が下支えし、拡大が続いています。日銀短観をはじめ、各種の景況調査も過去に例のない景況感を示しております。また、企業マインドも堅調です。一方、供給サイドでは、人手不足が続いていますが、企業にとつては、合理化・省力化推進の適時であるとともに、現在の需要拡大局面は、企業や事業者にとつて成長投資の好機と言えます。適切な設備投資により生産性を高めていくことは、従業員の待遇改善に向けても重要な意義があります。

こうした中、沖縄公庫は、各地域の商工会と連携し、融資制度説明会や出張相談会等を積極的に開催するなど、中小・小規模事業者への円滑な資金供給に鋭意取り組んでまいりました。おかげさまで、今年度も多くの事業者の小規模事業者経営改善資金貸付（マル経資金）と沖縄雇用・経営基盤強化資金（沖経資金）をご活用いただいております。これもひとえに、沖縄県商工会連合会と各商工会の皆様のご協力と経営指導員の皆様の日頃の親身なご指導の賜物であり、加えて公庫との緊

密な連携に対しまして、あらためてお礼申し上げます。

沖縄公庫は、総合的な政策金融機関として、今後ともより一層皆様との連携を深め、事業者の多様な資金ニーズに迅速かつきめ細かに対応するよう努めてまいりますので、引き続きお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

結びに、沖縄県商工会連合会と各商工会の益々のご発展と、皆様と会員事業所等の益々のご健勝、ご繁栄を祈念申し上げます。

平成二十九年 元旦



沖縄県商工会青年部連合会  
会長 西表 晋作

## 新年の祝辞

皆様あけましておめでとうございませう。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より、青年部活動への多大なるご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。私たちが青年部では、『一燈照隅（いっ

とうしようぐう）万燈照国（ばんとうしょうこく）をスローガンとして、諸事業に取り組んでいます。昨年は、青年部として、地域経済を牽引するリーダー育成のためのトップセミナーの開催や、地域との「絆」を確認し、さらに強化することを目的に全国の青年部員が統一実施するクリーンアップ事業に取り組んだほか、若い経営者の主張発表大会の開催、青年部九州大会や全国大会への参加、青年部ネットワークを生かした義援金活動などによる被災地域の青年部等への支援、経営力の向上を図るための経営革新塾の開催、部員増強運動など精力的に事業を実施してきました。

又、昨年二月には、平成二十九年度の第十九回青年部全国大会招致のプレゼンテーションへ挑み、三月には、青年部の悲願であった全国大会の沖縄開催が決定されました。十一月に福島で開催された商工会青年部全国大会には、沖縄から130名の青年部員が、次回開催PRに参加いたしました。今年度は、十一月に開催される商工会青年部全国大会の成功に向けて県下34商工会青年部の一千人余りの部員が一致団結して取り組まなければなりません。商工会青年部全国大会には、全国から二千五百人の青年部員が訪れ、地域経済に大きな波及効果が期待されます。親会の協力や国、県並びに開催地

の自治体の協力は必要不可欠なものであり、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

これからも我々商工会青年部は「かけがえない人たちと、かけがえない地域の為に」その使命を果たすべく、先人の教えに学びつつ未来に向けた活力ある社会の創出に向けて取り組んでいく所存でございます。

結びに、今年も部員のご商売が、益々益々盛されますよう、併せて皆様にとつて健康で明るい一年でありますよう心より祈念いたしまして、新春のあいさついたします。

平成二十九年 元旦

## 第18回 商工会青年部・女性部全国大会



平成28年度 商工会女性部主張発表大会  
最優秀賞受賞

渡嘉敷村商工会女性部部长 国吉 佳奈子さん

11月8日(火)～9日(水)、福島県郡山市のビックパレットふくしまで、第18回商工会青年部・女性部全国大会が開催され、主張発表大会では、九州プロックを勝ち抜いた国吉佳奈子さん(渡嘉敷村商工会女性部)が見事！最優秀賞に選ばれた。県内で女性部の最優秀賞受賞は初めての快挙である。

国吉さんはテーマ「女性部活動と地域振興・まちづくり」サブテーマに「小さな島のものづくり・ひとづくり」と題し島で採れた古代米「紫黒米」を使った「むらさき黒米味噌」の開発について発表した。

島の先輩の方々に味噌作りを教わり女性部で苦労しながら完成にこぎつけ、14年の沖縄産業まつり県商工会連合会の特産品コンテストで審査員特別賞を受賞するなど、女性部の和を大切にしながら地道な活動を続けた。

国吉さんの発表は実際の活動に基づき説得力があり、島の活性化にも寄与したところが評価された。

国吉さんは「最優秀賞に選ばれ、とてもびっくりしている、小さな島でも、頑張ればできることを示せたのではないかな。今後とも一致団結し、島の活性化を図ると共に、次の世代にうまくバトナタッチしていけるとうれしい」と語った。

何度も失敗しながらも信念を持って



発表の様子



会場の様子

取り組んだ国吉さん、今後の沖縄県の女性部活動の励みにもなったと思います。ありがとうございます。そして、本当におめでとうございます。



沖縄県商工会女性部連合会

会長 長山 春枝

### 新年の祝辞

平成二十九年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、商工会女性部連合会に格別なるご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、小企業・小規模事業者においては、景気回復の実感はまだ十分浸透しておらず、引き続き厳しい経営環境の中、これまでに努力しなければ

ならない状況にあります。

そうした中、商工会女性部は、更なる資質の向上と自己研鑽を目指し、事業を実施して参りました。

提案公募型・広域連携事業では、市町村商工会女性部において、自ら企画・立案した研修事業等を行っております。

七月に福岡県で行われた九州プロック商工会女性部交流研修会、十一月には福島県で行われた商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典及び第十八回青年部・女性部全国大会に参加し、研修会の中で相互研鑽や交流を重ね、資質向上を図ると共に、全国の部員との絆を深めました。

又その中で行われた、商工会女性部主張発表大会では九州大会を勝ちあがり九州プロック代表として、渡嘉敷村商工会女性部長の国吉佳奈子さんが女

性部活動と地域振興・まちづくり「小さな島のものづくり・ひとづくり」をテーマに発表し、見事最優秀賞に選出されました。

沖縄県から全国的最優秀賞に選出されたのは初めての事で非常に喜ばしい事となりました。

又、女性部の絆は強く、東日本大地震災等をはじめ、ここ数年全国各地で頻発する自然災害等に対し、全国の女性部ネットワークを活かした、全国統一積立基金事業で、全国の仲間との助けあいの気持ちを大切に、義援金等を通じて被災地の女性部への支援活動を継続して実施しております。

また、組織力向上を目的に、部員数千人を目標にして、部員増強運動を実施しております。

女性部未設置地区は東村、大宜味村、

与那国町の三町村となりましたが、商工業に携わる女性が皆商工会女性部員として活動が出来るよう、さらに、明るく元気な女性部員が地域経済を一層盛り上げられるよう、これからも設立支援を続けて参ります。

最後になりましたが、本年も商工会女性部は、女性らしい感性と特性を活かした事業で、部員一人ひとりが働く喜びを実感し、地域経済の振興、発展と社会一般の福祉の増進に取り組み、豊かなまちづくりの担い手となるよう努めますので、皆さま方のご支援とご協力をお願いするとともに、市町村商工会女性部並びに部員の皆様の更なる飛躍とご多幸を祈念申し上げます。

平成二十九年 元旦

青年部だより

第21回 親睦ゴルフ大会

平成28年12月9日(金) 南山カントリークラブ(糸満市)にて、第21回親睦ゴルフ大会を開催した。スポーツを通して部員相互の親睦を図ることができ、平成29年度商工会青年部全国大会(沖縄大会)の成功に向けて実のある大会となった。また、定員80名を10名近くオーバーし、主管を務めた糸満市商工会青年部のメンバーをはじめ南部支部のメンバーの一部が参加できない状況となった。大会の準備から運営、表彰、片付けまでありがとうございました。成績は左記のとおり

団体の部

- 優勝…うるま市商工会青年部
- 準優勝…宜野湾市商工会青年部
- 3位…南城市商工会青年部

個人の部

- 優勝…仲宗根一樹(宜野湾市)
- 準優勝…根川直樹(西原町)
- 3位…成田卓哉(豊見城市)

個人の部  
優勝



仲宗根 一樹

団体の部  
2位



宜野湾市

団体の部  
3位



南城市

団体の部  
優勝



うるま市

女性部だより

第18回商工会青年部・女性部  
全国大会福島大会

【11月7日(月)～10日(木)】  
5,200名(うち、沖縄県72名)の女性部員の参加のもと、福島県「ビッグパレットふくしま」を会場に、商工会青年部・女性部全国大会が盛大に開催された。

全女性連まち(地域)づくり顕彰では、地域や社会に貢献しながら様々な分野で豊かなまち(地域)づくりのため、積極的に事業に取り組む、地域活性化に大きく寄与している女性部として、各ブロックから、6ヶ所の女性部が顕彰された。九州代表の長崎県新上五島町商工会女性部は「高校生の声を若者の力を島の活性化へ」という事業で顕彰された。

主張発表大会は、全国各ブロックの代表者6名による発表が行われ、見事九州ブロック代表の沖縄県渡嘉敷村商工会女性部の国吉佳奈子さんが最優秀賞に輝いた。

プレゼンテーション～ふくしまVOICE～想・創・奏次の1000年へは、若手県・宮城県・福島県の被災3県の商工会青年部・女性

部が、震災から5年が経過した今日までの活動や現状を各県の代表者が語り、新しい未来へと歩みだす東北・北海道ブロックの心の発信があり、参加者は真剣に耳を傾けていた。

三日目以降の視察研修では福島県いわき市「久之浜町商工会」のおもてなしプランの体験で久之浜町商工会の方による震災当時の語り部や浜風商店街の視察を実施した。



仮設：浜風商店街



沖縄(女性部・青年部)紹介



視察地にて

●CO<sub>2</sub>排出権のもうけ話にはご用心！「特商法違反業者への指示処分」について

CO<sub>2</sub>排出権取引受託取次業務の訪問販売に対する違反行為の是正につきまして沖縄総合事務局からのお知らせを掲載しております。くわしくは県連HPをご覧ください。

## 役職員視察研修

# 商工会地区における「まち・ひと・しごと」地方創生の取組みを視察

～千葉県鋸南町・勝浦市・山武市～

11月17日開催の全国大会終了後、11月18日から千葉県内商工会地区で取組まれている「まち・ひと・しごと」地方創生をテーマに、参加者33名の役職員による視察研修を実施した。参加者からは、公共施設の再利用の事例や青年部が中心となってまちづくり、人づくりを実践している事例を学べて、地元の取組みの参考になったなどの声があった。

### ① 千葉県鋸南町「都市交流施設 道の駅 保田小学校」

人口減少で、廃校になった小学校を再利用する計画で防災機能を有した施設として道の駅を整備。同施設の取組がマスコミに取り上げられたことで、全国各地から多くの団体等が視察に訪れている。課題は、農産物などの地元産品の品揃えが少ないため、特産品等の販売が弱く、宿泊施設の稼働率が低いため、旅行社等から体験型のメニューを求められており、その対応を検討している。



磯野代表理事



大高衛社長

### ② ONE勝浦企業組合「地域ブランドの取組み」

勝浦市商工会の青年部が中心になって、漁師町で寒い海仕事で冷えた体を温めるメニューとして定着していたタンタンメンを地域資源として地域振興に取組んだ。飲食店に勝浦タンタンメンの定義を掲げて、地域ブランドとして事業を展開し、カップ麺、ポテトチップス、柿の種など、企業とコラボした商品は15種類を数えている。2015年にはB-1グランプリでグランプリを受賞し、勝浦のタンタンメンと地域のPRに取組んでいる。

磯野代表は、「“まちおこし”から“まちづくり”へ、“まちづくり”から“ひとづくり”へ」と活動理念を掲げて、地域の人材育成に取り組んでいると説明していた。



大高醤油にて

### ③ 大高醤油(株)「200年企業に学ぶ」

大高醤油は、1890年にフジトラ醤油として創業し、今年で創業216年の企業で、現代表で5代目になる。醤油業界は新規参入が難しく、生き残りが勝ち残りであるため、これまで経営できてきたのも従業員を大切にし、消費者のニーズに合わせた商品開発など経営革新に取り組んでいるからであると代表者は言う。代表は、自社の経営に留まらず、地域の活性化にも積極的に取り組み、規格外苺の商品開発やまちづくりの検討をする協議会を立ち上げて、地域振興に取り組んでいることを説明した。



みちの駅 保田小学校



忠孝酒造(豊見城市)の「黒あまざけ」が  
むらおこし特産品コンテスト

経済産業大臣賞(最高賞)受賞!



写真左 大城常務



最高賞を受賞した  
「黒あまざけ」

全国商工会連合会が主催する『むらおこし特産品コンテスト』の受賞者発表及び表彰式が商工会全国大会で行われ、豊見城市商工会所属の忠孝酒造株式会社(大城 勤社長)が出品した「黒あまざけ」が最高賞となる経済産業大臣賞を受賞いたしました。飲料での受賞は非常に珍しく、快挙達成に県全体が盛り上がりを見せています。

むらおこし特産品コンテストは今回で29回目を迎え、地域特産品の全国市場への登竜門として高く評価されているもので、日本各地の地域資源の活用や商工会の助言・協力のもとに開発された特産品の普及や販路開拓を支援することを目的に実施しています。

# ニッポン 全国物産展 2016開催 ～沖縄ブース大盛況～

去った11月25日～27日の三日間、東京・池袋のサンシャインシティでニッポン全国物産展が開催されました。

全国津々浦々から商工会地区の特産品が集結する日本最大規模の物産展で、沖縄からも5市町村7事業所が出展しており、人気の沖縄コーナーは大きな盛り上がりを見せていました。

会期中は15万人を超える来場者があり、出展者はお客様とのやり取りを通じて首都圏での新たな販路拡大や商品開発へのヒントを得たことと思います。



開会式テープカットの様子



出展者はみな頑張っていました



読谷村商工会からも参加



大人気のアセローラフローズン



沖縄エリアは大人気



売り切れ寸前の沖縄そば



## おきマンゴースイーツ専門店おきぼたショップ（名護市） 第7回ニッポン全国おやつランキング第3位を獲得！

全国物産展の目玉企画であるニッポン全国おやつランキングにて、名護市のマンゴースイーツ専門店おきぼたショップの「プリン・ス・マンゴー」が3位に入賞しました。、惜しくもグランプリは逃しましたが全国3位という素晴らしい成果を達成しました。おめでとうございます！なお、沖縄県は3連続で3位以内に入賞しています。



おやつランキング表彰式



今年も激戦のおやつランキング



全国3位を獲得した  
「プリン・ス・マンゴー」

### ●商工会青年部・女性部 新人部員募集中

事業家として自らを見つめ直し、部員としての誇りと自信を持って、地域に根差した活動の展開で更に事業所の発展を目指しませんか。

参加無料

現経営者  
受講推奨!!

# 課題別 事業承継 セミナー

備えあれば憂いなし!

事業承継とは、いつ、何を、どのような手段で行うことが必要なのでしょうか?

また、後継者として事業を引き継ぐことになった場合には、どのようなポイントを学べば良いのでしょうか?事業承継の入口で迷いや悩みを抱えている多くの経営者・後継者の方に、事業承継を取り巻く最新情報と、具体的な解決の手段をお知らせするセミナーを開催します。

プロフェッショナルが事例を交えながら講義をしますので、ぜひこの機会にご参加下さい。

## 第3回「経営者向け事業承継のこころ構え」～これから始めるいちばん優しい事業承継入門～

日時

◎1月26日(木) 14:00～17:00 『南風原町立中央公民館』

◎1月27日(金) 14:00～17:00 『北谷町商工会』

講師紹介

内藤 博氏 (株) 事業承継協会 代表理事



自分自身がベンチャー企業の取締役として成長発展から縮小リストラまで経験した強みを活かし、単なる相続事業承継にとどまらず、時には家族会議への参加、親子間の仲介も行うなどコンサルティングスタイルには独特のものがあ、根強いファンがいる。相続事業承継の専門コンサルタントとして、「事業承継」を天職と考え、年間数百件の相談をこなし、執筆、講演会も多数開催している。

問合せ：沖縄県商工会連合会 098-859-6150

# 創業 実現塾

& ビジネス見直し  
モデル

2017年 1/29 石垣会場  
毎週日曜全5回

10:00-17:00  
(初日のみ9時開始)

会場

石垣市商工会  
石垣市健康福祉センター(最終日のみ)

年に1度の八重山開催! 地元密着型の事業計画の作成ができる! 信頼できる経験豊富な商工会の創業セミナー!

⇒こんな方にオススメ! ⇒

- お店を始めたいが、漠然としていて何から始めていいかわからない
- 事業計画をどのように立てればいいのかわからない...
- 経営の基本や戦略について学びたい!
- わたしの考える事業の業界の情報かわからない
- お客様が集まるのかどうかかわからない
- 事業計画はあるけど、融資が受けられるのかどうかかわからない
- 事業を始めたくて、うまく利益が出ないので、

ビジネスモデル全体の見直しと再構築を図りたい。

スタート! 定員30名 商工会と共に『夢』への第1歩を築いてみませんか?

1日目

2日目

3日目

4日目

5日目

1/29

2/5

2/12

2/19

2/26

?  
お問合せなど

沖縄県商工会連合会 098-859-6150

担当：城間・内間・神里・金城

受講料 1万円  
(5回分)

ネットでお申込み⇒



全国第2位!! 組織率

会員加入において、平成28年4月1日現在で組織率が65.5%で、全国で2番目に高くなっており、会員数においても九州では、福岡県に次いで二番目となっております。

# 百年企業物語 きしもと食堂

本部町商工会 事務局長 宮里 昌典



4代目仲程弘樹さん

4代目が後継ぎ、111年の歴史ある沖繩そば店

本部町にある『きしもと食堂』は、1905年(明治38年)創業、111年の歴史ある沖繩そば店だ。

現在は、4代目仲程弘樹さん(37歳)が本店と支店の八重岳店を切り盛りしている。創業者の故・岸本オミトさんは、弘樹さんの曾祖母にあたる。2代目が故・佐久川カナさんで、実母であり創業者であるオミトさんの店を若い頃から手伝い、88歳まで現役で働き続けた。『きしもと食堂』の継続・発展に最も寄与した人だった。3代目はカナさんの長女、仲程静子さん(77歳)が継いだ。静子さんは、長い間役場勤めをしており、休日に店を手伝う程度だった。カナさんが病気になる、店を閉める相談が親族の間で交わされたが、常連客から

ひ続けて欲しいと要望されたこともあり、後継ぎとなる。4代目は静子さんの長男、弘樹さんが継いだ。社人になった当初は他の仕事に就いていたが、14年前、後継ぎになる事を決意した。創業100周年には、麺作りの作業所を兼ねた八重岳店もオープンし、より多くのお客さんにゆっくり食べてもらえるよう改革を図っている。2015年には、(株)ファミリーマートと(株)沖繩ファミリーマートは東洋水産(株)と共同開発して沖繩そばの名店「きしもと食堂」監修のカップ麺「きしもと食堂 きしもとそば」を全国のファミリーマート店舗約一万二千二百店舗で1月に限定発売した。全国の沖繩ファンへ沖繩そばの興味の端緒を開くことが期待された。

創業は自宅の一角でそば屋を始めた

1905年(明治38年)故・岸本オミトさんは本部町渡久地の港側(戦後現在地に移転)に『きしもと食堂』を創業した。夫の恵愛さんは、琉球漆器の仕事に従事していた。夫婦とも那覇からの寄留民で、当時、渡久地港は山原船が停泊し、人の往来が盛んだった。夫の収入だけを当にすような性格ではなかったオミトさんは、渡久地港を行き交う人を相手に、自宅の一角でそば屋を始めた。

伊豆味から薪を取って来て、薪を燃焼させて得られる灰を水に溶かし、その上ずみ水と小麦粉を混ぜ合わせ、腰の強い独特の手打ち麺を作った。現在もこの製法を引き継いでいる。オミトさんは、琉装姿で那覇の言葉遊び好きでもあり、那覇大綱挽きの時はねムシロを持参し、那覇まで見物に行った。まだ冷蔵庫のない時代、蒲鉾の端の部分や残り物は、周囲の人にわけていた。また誰構わず「食べて行きなさい」と人の為に尽くした人でもあった。戦後は、夫の恵愛さんもそば屋を手伝った。

本部町は、2010年に「そばの町宣言」を行い、現在約80店舗でそばが食する事が出来る。その中でも、「きしもと食堂」は最も歴史のあるそば屋として、本部のそばを広く内外にアピールしている。



店内にはサインがいっぱい



昔ながらのお店



壁一面のサイン

## 伴走型支援事業の事例



セミナーの様子

宜野座村商工会では経営発達支援計画に基づき全国連の伴走型小規模事業者支援推進事業を実施しています。伴走型小規模事業者支援推進事業では、村内の小規模事業者を対象にランチェスター経営の集団セミナーを2ヶ月で7回実施し経営の目的、小規模事業者による経営戦略について延べ9事業者が受講しました。集団セミナー終了後は経営計画策定や販路開拓を目的に顧客戦略個別セミナーを



個人面談

8回実施しており、参加事業者によるワークショップなどを通して顧客戦略による経営計画策定を行っており、今後実施予定の小規模事業者持続化補助金の事業説明会並びに個別相談会に繋げる計画であります。また、経営発達支援計画の目的のひとつである宜野座村観光センターの開業にあわせて新しい村名産品の開発も計画にしており、元百貨店のバイヤーを講師に招き売れる特産品開発のセミナーと個別相談会を開催しました。その他、宜野座村産業まつり期間中に来場者を対象に需要動向調査を実施しました。また、道の駅ぎのざにおいても来店者調査を実施しており分析結果を商工会報新年号の発行にあわせて村内事業者及び村民全世帯へ情報提供する形で配布する計画です。

## 「中小企業等経営強化法」の概要

### 1. 背景

- (1) 人口減少・少子高齢化の進展や国際競争の激化、人手不足など、中小企業・小規模事業者・中堅企業（以下「中小企業・小規模事業者等」という。）を取り巻く事業環境は厳しさを増しており、足下では**生産性が低迷し人材確保や事業の持続的発展に懸念**が存在。
- (2) こうした中で、中小企業・小規模事業者等が労働の供給制約等を克服し、海外展開等も含め、将来の成長を果たすべく、**生産性の向上（経営力向上）を図ることが必要**である。

### 2. 法律の概要

#### (1) 事業分野の特性に応じた支援

国は、基本方針に基づき、事業分野ごとに経営力向上の方法等を示した「**事業分野別指針**」を策定。個別の事業分野に知見のある者から意見を聴くなどして、中小企業・小規模事業者等の経営力向上に係るベストプラクティスを事業分野別指針に反映させていく（PDCAサイクルを確立）。

#### (2) 中小企業・小規模事業者等による経営力向上に係る取組の支援

中小企業・小規模事業者等は、事業分野別指針に沿って、**顧客データの分析を通じた商品・サービスの見直し、ITを活用した財務管理の高度化、人材育成等により経営力を向上して実施する事業計画（「経営力向上計画」）**について、国の認定を得ることができる。**認定事業者は、税制や金融支援等の措置を受けることができる。**また、支援機関は、国の認定を得て、中小企業・小規模事業者等による経営力向上計画の作成・実施を支援する。（現行では、商工会議所、商工会、金融機関、土業等が支援機関となっている。）

### 経営力向上の事例

#### サービス業における取組（例）

売上、予約状況等の情報をタブレット端末を用いて、各所の従業員にリアルタイムで共有。細やかな接客や業務の効率化による収益向上を実現。



#### 製造業における取組（例）

自動化された工作機械を導入しつつ、従業員の多能工化を促進し、一人で管理できる工作機械を増やし、収益力の向上を実現。



安心 安全 国がつくった

# 小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

## 制度の特長

### 1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

### 2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

### 3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

退職金の準備を  
中小機構が  
お手伝いします

他にもこんな特徴があります。

#### 契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

#### 共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

小規模企業共済

検索

中小機構

中小機構は経済産業省所管の独立行政法人です

www.smrj.go.jp/skyosai TEL:050-5541-7171 (共済相談室)